

2. 文化祭での平和教育指導の試み

長谷川 弘

【抄録】一昨年行われた本校中学文化祭での「平和教育」指導の実践報告である。本校では伝統的に文化祭において演劇を行ってきたが、一昨年はそれに「展示」が加わった。文化祭でのクラステーマ決め、それにそった内容での演劇・展示。その中から生まれてきた、生徒にとっての「平和」。それらを論述してみた。

【キーワード】中学文化祭、平和教育、クラステーマ演劇、展示

I はじめに

1990年度本校の研究大会で、筆者は、本校の教育目標である「平和教育」を軸にして中学文化祭を行った一つの実践報告を発表した。本稿はその発表をまとめたものである。

II 一昨年、昨年の中学文化祭

1 一昨年の概要

クラスの出し物として例年行われる演劇コンクールのほかにクラス展示が新たに加わった。下がその内容である。

	1 A	1 B	2 A	2 B	3 A	3 B
演劇	原子力	物語	学園物	SF	沖縄戦	英語劇(移民)
展示	原発問題	かめん	森	未来	沖縄戦	1920年代ほか

2 昨年の概要

一昨年の文化祭で、多くのクラスが演劇と展示の内容に共通性を持たせた。そして昨年、これをさらに発展させようということで、クラステーマを決めて、演劇と展示の内容に統一性を持たせることになった。

	1 A	1 B	2 A	2 B	3 A	3 B
演劇	セロ弾きのゴージュ	原爆	ヘアースタイル	モモ	友情物語	ドイツ戦争
展示	宮沢賢治	第二次大戦	校則	時間	友情	戦争と平和

上がその内容である。

3 クラステーマについて

・担任によってやや異なるが、基本的には平和教育的なものに担任指導で決めていったわけではない。
・中学としての「統一テーマ」を設けようかとも考えたが、結局それはしなかった。ただ高校をも含めた学

校全体のテーマは毎年高校生を中心に決められている。

・クラステーマが決められた直接的な経緯は上で述べた通りだが、学校改革の一環である「教育活動の総合化」をその底流にねらいとしてあることも指摘しておきたい。1)

III 昨年の学校全体の行事を通した平和教育指導¹⁾

1 昨年の1学期行事の流れ

5月 講演会「アウシュヴィッツを訪ねて」

7月 演劇鑑賞会「黄色い扉」

・ドイツのユダヤ人弾圧・差別がテーマ。
・「あのころはフリードリヒがいた」が原作で、中2の国語教科書「ベンチ」にその一部分が取り上げられている。
・中学生生徒全員に原作を読ませてある。

6～7月 クラステーマの決定

このように「(ユダヤ人)差別」の問題を昨年の1学期行事の中心にすえた。これらの行事を通して、生徒はクラステーマを決めていったことになる。「戦争」をテーマとして選んだのが2クラスになったのはそのためでもある。

IV 展示取り組みの一例(中2A)

1 クラステーマ(校則)決定のいきさつ

(1) 本校では以前から、女子に「夏服」を嫌がる生徒が多かった。そのため、中学前期生徒会の活動方針は「女子夏服改正」になった。しかし、アンケートの結果、1、2年生の大多数の賛成にもかかわらず、3年生では半数以上が反対だった。このため生徒会としてはそれ以上の運動をしないことになった。

しかし、2年生には不満が残り、担任(筆者)が生徒会顧問ということもあり、「夏服改正」を一つの柱として文化祭に取り組むことになった。

- (2) クラスの中の「いじめ」がどうしてもなくならなかった。担任としてはそれも問題にしたかった。そして「夏服改正」とともに、「いじめ」を含めた人間としての人権という面から「校則」を取りあげるようになった。
- (3) 演劇脚本は「校則いじめ」を問題にしたものがちょうどあり、それを参考にした。
- 2 概略 (以下、生徒作成のプリントより)

J2A展示について

(1)15分の流れ

- ①説明 1分
- ②ファッションショー 3分半
- ③ビデオ 5分
- ④校則の説明 2分
- ⑤見学・アンケート 3分半

(2) 略

(4)各企画の説明

①夏休みにやってくること

1. ファッションショー

夏休みの出校日又は9月1日までに女子制服のデザインを考えてくる。(紙は係が用意。女子全員がやってくる)

2. 校則

校則調査の三人で話し合い、各分担を夏休み前に決め、その分担を調べて来る。

②ファッションショー、デザイン掲示、アンケート女子

デザイン20枚の中で1枚制服作製係が作ったもの+有名私立中学5着合計6着をモデルの人が着て、中学校全生徒に見てもらう。残ったデザインは全部掲示する。その中で10枚を2人で1枚はり絵にする。そして、その20枚

の中でどれが良かったかを全員にアンケートをする。(女子のみ)

③ビデオ

岡崎市のある中学校である1少年が「丸刈り」という校則に反対している。その少年に取材して、はたして「丸刈り」という校則があつてよいのかということを見学してもらう。

④校則展示、アンケート男子

夏休みまでに調査したことを書記係が写して、それを掲示し、また質問事項を設けて、アンケートをしてもらう。(男子のみ)

⑤部屋作り、あんまく作り

9月中にあんまくを作り、文化祭2日目の午後、残って部屋作りをする。

VII おわりに

1 最後に研究紀要第35集71ページ、研究紀要第34集「総合学習としてのクラス演劇(88年度)」などで文化祭を総合「学習」の場、道徳、授業実践の場としてとらえることができるのではないかと説明した。

2 新たな行事、運動への発展の足掛かりとしてとらえることができる。

(1) 現高2(一昨年「沖縄戦」をクラステーマにした3年)から研究旅行(修学旅行)は沖縄へ行くことになった。文化祭で深められた問題意識がさらに発展していった好例だろう。

(2) 2年の取り上げた「夏服改正」の問題が現在へと発展され、改正されることに決定された。現在、どう改正していくかに問題は移っている。これも、文化祭で訴えたクラスのテーマが新たな運動を呼び起こしたといえるだろう。

〈注1〉本校研究紀要第35集「国際理解と平和の教育の実践について」p60~66